

キャラクター名
四月朔日 止在(わたぬき しとう)

プレイヤー名

シンドローム	オルクス サラマンダー		ワークス	研究者	カヴァー	独身貴族
	オプショナル		年齢	27	性別	男
覚醒	無知	衝動	加虐	初期侵食率	38	%
出自	資産家	経験	大転落	邂逅	友人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	3	0	0			3	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:オカルト	4		情報:学問	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
鬼百合	RC	8r+1		16+2d		CR+顎 装甲無視 同エン× シーン3回 5
100%	RC	11r+1				
鳳仙花	RC	8r+1		28+2d		CR+顎+アニマル 装甲無視 同エン× シーン3回/シナリオ3回 7
100%	RC	11r+1		32+2d		シーン4回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
メモリー:七姫薫(感情:慕情)	
怨念の呪石	
デモンズシード	
コネ一式(6種類)	
情報収集チーム	
NPCカード:七姫文芳	
NPCカード:千城寺薫	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
動物使い "アニマルテイマー"	P	N		
薬丸 創治	P 好奇心	N 隔意		
"道化の真実" 千城寺 薫	P 親近感	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
絶対冷度 4	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 暴走中【精神】判定ダイス+[LV+1] EAP107								
紅蓮の憎悪 3	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: ハステ中攻+[LV*3] CEP66								
CR:オルクス 3	3	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果: 組み合わせた判定のC値-LV EAP129								
鋼の顎 3	3	3	Xジャー	視界	-	対決	-	
効果: 攻+7 装甲無視 同エン× シーンLV回 RWP41								
アニマルアタック 3	3	2	Xジャー	視界	-	対決	Dロイス	
効果: 攻+[LV*4] シナリオ3回 LMP84								
氷の塔 5	2	4	Xジャー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果: 攻+[LV*3] 同エン× EAP106								
完全なる世界 3	3	5	Xジャー	-	-	対決	100%	
効果: 判定ダイス+[LV+1] 攻+[LV*3] EAP101								
超越者の眼力 3	1	1	Xジャー	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果: 非オーヴァードをエキストラ化 シナリオ1回 EAP133								
地獄耳 1	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 地獄耳になる EAP103								
猫の道 1	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 道を作る EAP103								
不可視の領域 10	1	-	Xジャー	至近	参照	自動	-	
効果: [LV*1000]rを隠蔽する EAP103								
透明存在 1	1	-	Xジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 非オーヴァードに認識されなくなる RWP41								
効果:								

設定

本名は「神楽坂 紫苑(かぐらざか しおん)」。明治時代から代々続いている資産家、神楽坂家の長男。表向きはただの金持ち一家だが、実のところ何十年か一度の頻度でオカルトに傾倒する者が出るという謎の家系であり、彼もその一人であった。彼にとって身近に"人ならざるもの"が存在していることは至極当たり前のことだった。まだ立って歩くこともできない頃から、誰もいない虚空を見つめて来しようにしている姿を目撃されては身内や使用人達に気味悪がられていた。歳を重ねてからもその奇行は収まることはなく、寧ろ悪化していった。

普通なら、彼のような"魅入られた者"は身内から陰で忌み嫌われながらも表面上は波風立てずに神楽坂の一員として生涯を全うすることになるのだが、長男ともあろう立場の人間が、人智の及ばない、わけのわからないものにのめり込んでいるという事実が万が一にでも世間にバレてしまえば、神楽坂の名に泥を塗ることになるため、例外措置として大学卒業直後に突然家から勘当されることとなった。

しかし本人は大した問題としないどころか、寧ろ息苦しい家から解放されたことを喜び、以降は各地を放浪しながら「四月朔日 止在」というペンネームでオカルト関連の書籍を出版し、界限では名の通るオカルト作家として活動している。ただ内容が内容なのでいつまで経ってもニッチな固定読者しかつかず、それだけを生業にしていたら生きていけない程の収入しかない。そのためいよいよ生活が困窮してきたときはオーヴァードが関わっている/いないに関わらず様々な伝手から仕事を貰ってなんとか食いつまんでいる。

長年野良オーヴァードとしてUGNやFHといった組織に交わらないところで生きていたが、とあるレネゲイト事件に巻き込まれて以降、UGNに捕捉されてしまったため、何かにつけて仕事を投げられている。今回の温泉旅行も多分そんな感じ(雑)

性格